

シンコペーションをひとことで説明するなら、「拍の強弱を本来の位置からずらしてリズムに変化を与えること」でしょうか。ノリの良い演奏ができるかどうかは、シンコペーションの演奏力に比例します。シンコペーションが続くとテンポが走りやすくなるので注意して弾きましょう。

check!



check!

166
365



シンコペーションと タイのコンビネーション

Track 171

♩=100

タイが出現することで、テンポが走りやすくなります。拍をしっかりと感じ取って、リズムが甘くならないように注意しましょう。



check!

167
365



ジャズのニュアンスを 表現する

Track 172

♩=110

ジャズはシンコペーションの宝庫です。シャッフルのノリで弾きましょう。休符の間はエネルギーを貯めて、次の音で飛び出すようなイメージで弾いてみてください。



check!

168
365



ボサノヴァの ニュアンスを表現する

Track 173

♩=110

ギターが軽やかに奏でているイメージで弾きましょう。とは言え、はね上がり過ぎないように意識して、鍵盤に指が触れるくらいの高さから打鍵してください。



シンコペーションのことをもっと知ろう!

シンコペーションを英語、ドイツ語、イタリア語で書くと次のように表記されます。

(英) Syncopation

(独) Syncope

(伊) Sincope

私達に馴染みがあるのは英語読みですが、どれをとってもあまり大差がないので、簡単に覚えられそうですね。

シンコペーションは、古くは中世の音楽にも使われていました。クラシックにも多用されている印象が強

くありますが、ブルースやジャズなどの基礎にもなっています。シンコペーションを制覇できれば、いろいろなジャンルを幅広く網羅できるチャンスがある、ということですね。

いろいろなシンコペーションのリズムがありますが、「タタンタ」というようなリズムの場合、言葉に置き換えてみるとヨレずに弾きやすいでしょう。例えば「ひこ〜き」、「スリッパ」、「スケール」など、これまたいろいろと考えてみると面白いでしょう。